学校番号	403

令和８年度　国語科

教科	国語	科目	論理国語	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	高等学校「論理国語」　（第一学習社）						
副教材等	新演習　現代文アチーブ３（桐原書店）　　プレミアムカラー国語便覧（数研出版） 高校漢字の総練習（三省堂）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

主体的に学び、深める態度を求めます。読む・書く・調べる・考える・まとめる・表現する等の活動を通じて、よりよく生きる力と意欲を養う時間にしていきましょう。

2　学習の到達目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することをめざす。

(1) 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。

(2) 論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。

(3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けている。	「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
一学期	評論三 ［教材］越境する動物がもたらす贈り物（矢野智司）	a:論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。言葉の意味内容をあらためて考え、認識や思考と言葉との関係を理解している。 b[読]物語に描かれた人間と動物との関わりについて、筆者の主張とそれを支える根拠の関係に着目して理解する。 c:主張と根拠の関係に着目しながら粘り強く本文を読み、学習課題に沿って各段落の位置づけを分析しようとしている。	定期考査 小テスト	発問評価 定期考査 課題の提出	授業態度 発表・レポート ノート提出
	評論四 ［教材］AI 時代の社会と法（小塚荘一郎）	a:・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。言葉の意味内容をあらためて考え、認識や思考と言葉との関係を理解している。 b[読]AI（人工知能）の発展がもたらす社会と法の関係の変化を把握し、今日的な問題意識を持つ。 c:本文を粘り強く読み、テクノロジーの進化が経済活動にもたらす変化を説明しようとしている。	定期考査 小テスト	発問評価 定期考査 課題の提出	授業態度 発表・レポート 振り返りシート ノート提出
二学期	評論七 ［教材］人間という中心と、それよりも〈軽い命〉（金森修）	a:論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。言葉の意味内容をあらためて考え、認識や思考と言葉との関係を理解している。 b[読]:具体（例示）と抽象（意見）の関係を整理して論理構成を把握し、筆者の述べる人間観を理解する。 c:学習課題に沿って積極的に本文中の語句や表現について考えることで、語感を磨き語彙を豊かにしようとしている。	定期考査 小テスト	発問評価 定期考査 課題の提出	授業態度 発表・レポート 振り返りシート ノート提出
	評論十 ［教材］「である」ことと「する」こと（丸山真男）	a:論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 b[読]:具体例と主張との関係、段落相互の関係を把握し、民主主義社会のあり方について理解を深める。 c:・学習課題に沿って、具体例や対比に着目しつつ、粘り強く筆者の主張をとらえようとしている。	定期考査 小テスト	発問評価 定期考査 課題の提出	授業態度 発表・レポート 振り返りシート ノート提出
三学期	評論十 ［教材］目に見える制度と見えない制度（中村雄二郎）	a:語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・文章の構成や展開のしかたについて理解を深める。 ・情報と情報との関係について理解を深め、情報を階層化して整理する。	定期考査 小テスト	発問評価 定期考査 課題の提出	授業態度 発表・レポート 振り返りシート ノート提出

		b[書]:身の回りの制度について述べた文章の内容を基に、自分の考えを論述したり発表したりする。 c:身の回りの制度について述べた評論を粘り強く読み、学習課題に沿って本文の構成を捉え、要旨をまとめようとしている。			

※表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準ｂ[　]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　　）時間

・書くこと　…　（　３０　）時間

・読むこと　…　（　４０　）時間